

## 学校選択制の運用等について

### 1 区全体の就学人口の動向について

- ・住基人口と各学校の入学率から令和10年度まで就学人口は緩やかに増加。
- ・35人学級の段階的導入や今後の再開発等マンション建設計画により、必要な教室数も増加。
- ・城南小学校は大型マンションの影響により、学級数が急増し教室数が逼迫する見込み。

### 2 城南小学校の施設の現状と課題

(1) 令和4年度実績および令和5年度以降の想定数

※R4.4.1時点

年度	R4(実績)	R5	R6	R7	R8	R9	R10
全校児童数(人)	653	741	809	907	980	1,042	1,096
学級数	20	23	26	29	31	33	35
新1年生住基数(人)	160	168	201	221	214	225	221
新1年生入学者数(人)	140	147	176	194	188	197	194

(2) 普通教室の整備 (整備済み教室数：22教室)

- ・令和5年度より不足の可能性があり、可能な限り教室改修で対応する。

(3) 校舎の増築の可能性

- ・立地上、工事中の児童の安全確保が難しいため増築は実施せず。

### 3 対応策

(1) 学校選択の受け入れ停止

人口増や施設の現状を把握して頂き近隣校への選択・入学を促すため、令和5年度入学者から城南小学校への学校選択の受け入れおよび指定校変更(転入転居除く)の受け入れを停止する。

(2) 学区域の変更を検討

令和5年度より学事制度審議会を開催し、通学区域変更の検討を開始する。併せて区全体の通学区域の状況を再確認と検討を行う。